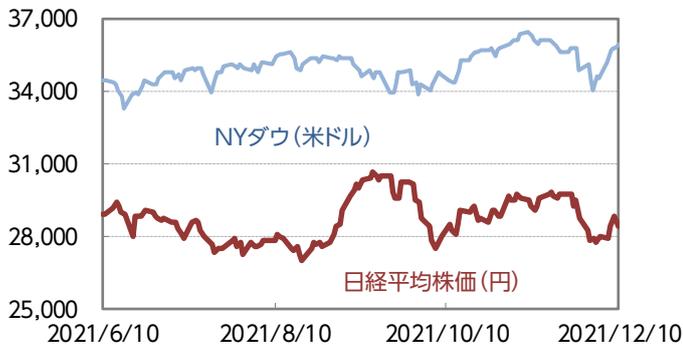


■先週の市場の動き

米国株式は反発。新型コロナ・オミクロン株に対する過度な警戒感が和らぎ、買い戻しの動きが加速。中国人民銀行が「預金準備率」の引き下げを発表したことも、投資家心理を改善させた。週末に公表された、米消費者物価指数は市場予想の範囲内と受け止められ、米金利低下でハイテク株も持ち直した。

■株式市場



日経平均株価は3週ぶりに反発。29,000円に近づく場面では上値の重さが目立った。

■債券市場



米国10年国債利回りは週間では上昇。オミクロン株に対する警戒が和らぎ、相対的に安全資産とされる米国債は売りが優勢となった。

■REIT市場



国内は反発。日経平均株価の上昇を受けた投資家心理の改善でREIT市場でも買いが優勢となった。海外は反発。

■コモディティ市場

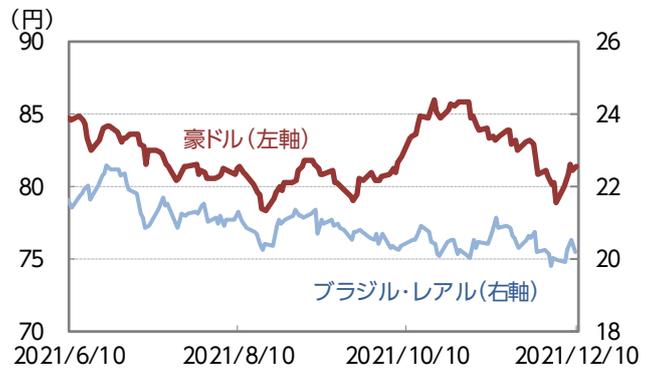


原油は反発。オミクロン株に対する懸念が後退し、需要の改善を見込んだ買いが入った。金は反発。

■為替市場



米ドル/円、ユーロ/円は共に反発。オミクロン株に対する警戒が和らぎ、低リスク通貨の円は売り優勢となった。



豪ドル/円、ブラジル・リアル/円は共に反発。

※原油先物はニューヨーク・マーカンタイル取引所 WTI先物価格
(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

■主要指標の動き

	先週末 12/10	騰落率			先週末 12/10	変化率				
		1週間	1カ月	3カ月		1週間	1カ月	3カ月		
株式関連	日経平均株価	28,437.77	1.46%	▲2.30%	▲6.40%	米ドル	113.44	0.57%	▲0.41%	3.18%
	TOPIX	1,975.48	0.90%	▲1.62%	▲5.55%	ユーロ	128.32	0.53%	▲1.86%	▲1.21%
	JPX日経インデックス400	17,836.08	0.95%	▲1.42%	▲5.71%	英ポンド	150.53	0.86%	▲1.41%	▲1.08%
	米国 NYダウ	35,970.99	4.02%	▲0.30%	3.94%	豪ドル	81.33	3.01%	▲2.55%	0.60%
	米国 S&P500指数(米ドルベース)	4,712.02	3.82%	1.41%	5.68%	カナダ・ドル	89.17	1.58%	▲2.23%	2.94%
	米国 S&P500指数(円ベース、配当込み)	5,691.56	4.03%	1.11%	9.51%	ノルウェー・クローネ	12.68	3.22%	▲3.66%	0.09%
	米国 ナスダック総合指数	15,630.60	3.61%	0.05%	3.41%	ブラジル・リアル	20.20	1.23%	▲2.55%	▲3.59%
	英国 FTSE100	7,291.78	2.38%	▲0.66%	3.74%	香港ドル	14.54	0.48%	▲0.52%	2.91%
	ドイツ DAX	15,623.31	2.99%	▲2.77%	0.09%	シンガポール・ドル	83.07	1.05%	▲1.33%	1.37%
	香港 ハンセン指数	23,995.72	0.96%	▲4.00%	▲8.43%	中国・人民元	17.80	0.08%	▲0.05%	4.39%
	中国 上海総合	3,666.35	1.63%	4.98%	▲0.99%	インド・ルピー	1.50	▲0.12%	▲2.12%	0.46%
	インド S&P BSEセンセックス指数	58,786.67	1.89%	▲2.59%	0.83%	インドネシア・ルピア	0.79	0.86%	▲1.28%	1.95%
	ブラジル ボベスパ	107,758.30	2.56%	1.69%	▲5.71%	トルコ・リラ	8.16	▲0.80%	▲29.46%	▲37.09%
	債券関連	日本10年国債利回り	0.050%	0.000	▲0.010	0.010	南アフリカ・ランド	7.10	1.35%	▲3.74%
米国10年国債利回り		1.484%	0.141	▲0.066	0.143	メキシコ・ペソ	5.43	2.44%	▲1.66%	▲1.77%
ドイツ10年国債利回り		▲0.346%	0.042	▲0.099	▲0.016					
米国ハイイールド債券		481.36	0.60%	▲0.42%	▲0.44%					
その他	東証REIT指数	2,071.16	2.32%	0.57%	▲2.58%					
	S&P先進国REIT指数	317.66	2.46%	0.10%	4.14%					
	S&P香港REIT指数	375.25	1.26%	▲3.60%	▲4.40%					
	S&PシンガポールREIT指数	340.20	1.09%	▲3.13%	▲4.00%					
	ブルームバーグ商品指数	96.90	1.15%	▲5.02%	▲0.21%					
	NY金先物	1,784.80	0.05%	▲3.56%	▲0.52%					
アレリアンMLPインデックス	1,106.79	0.68%	▲7.80%	0.30%						

※先週末休場の市場は直近値
 ※国債の騰落率は利回りの変化幅
 ※米国ハイイールド債券はICE BofA US・ハイイールド・BB-B・インデックス
 ※東証REIT指数は配当なし
 ※S&P先進国REIT指数は除く日本、米ドルベース、配当なし
 ※S&P香港REIT指数、S&PシンガポールREIT指数は米ドルベース、配当なし
 ※NY金先物は1トロイオンス当たりの米ドル建価格
 ※アレリアンMLPインデックスは米ドルベース、配当込み
 ※インドネシア・ルピアは100通貨単位での表示

■主要経済指標

<国内>

家計調査(10月)	実質消費支出は前年同月比▲0.6%。営業制限が続き外食は減少。外出増で交通は同+10.9%。
毎月勤労統計調査(10月)	実質賃金は前年同月比▲0.7%。消費者物価上昇が押し下げ。残業代などが前年の反動増。
実質GDP成長率(7-9月期、2次速報値)	前期比年率▲3.6%に速報値(同▲3.0%)から下方修正。季節調整方法の見直しが主因。
景気ウォッチャー調査(11月)	現状判断指数は前月比+0.8ポイントの56.3。8年ぶりの高水準。政府の基調判断は上方修正。
東京都心オフィス空室率(11月)	前月比▲0.12ポイントの6.35%、21カ月ぶりの低下。企業業績拡大で大型成約の動き。

GDP: 国内総生産

<米国>

貿易収支(10月)	赤字は前月比▲17.6%の671億ドルに急減。輸出が+8.1%の2,236億ドルと過去最高額を更新。
消費者物価指数(11月)	前年同月比+6.8%と、1982年6月以来の高水準。食品とエネルギーを除くコア指数は同+4.9%。
消費者信頼感指数(12月、ミシガン大調べ)	前月比+3.0ポイントの70.4。上昇は3か月ぶり。前月は10年ぶりの低水準だった。

<中国>

貿易統計(11月、米ドル建て)	輸出は前年同月比+22%。輸入は同+31.7%。黒字額は717.2億ドル。
消費者物価指数(11月)	前年同月比+2.3%。野菜などが値上がり。食品とエネルギーを除くコア指数は同+1.2%。

■今後の焦点

【国内】

日付	イベント
12/13	日銀短観(12月調査)
12/13	機械受注(10月)
12/16	貿易統計(11月)
12/17	日銀金融政策決定会合の結果発表
12/23	全国百貨店売上高(11月)
12/24	全国消費者物価指数(11月)

【海外】

日付	イベント
12/14	ユーロ圏鉱工業生産指数(10月)
12/14	米卸売物価指数(11月)
12/15	中国工業生産指数(11月)
12/15	中国小売売上高(11月)
12/15	英国消費者物価指数(11月)
12/15	米小売売上高(11月)
12/15	FOMC(米連邦公開市場委員会)結果発表
12/16	ユーロ圏総合PMI(購買担当者指数)(12月)
12/16	ECB(欧州中央銀行)理事会の結果発表
12/16	米住宅着工件数(11月)
12/16	米製造業PMI(12月)

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

【投資に関する留意事項】

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債など値動きのある有価証券等を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

投資信託にご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

1. 購入時に直接ご負担いただく費用 (1) 購入時手数料 上限 3.85%(税込) (2) 信託財産留保額 上限 0.1%
2. 換金時に直接ご負担いただく費用 (1) 信託財産留保額 上限 0.5%
3. 保有期間中に間接的にご負担いただく費用 (1) 信託報酬 上限年率 2.09%(税込、概算)

※ファンド・オブ・ファンズ形式の場合は、一部を除き、投資信託が投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。

※一部の投資信託および投資信託証券には運用実績等に基づき計算される成功報酬額が別途かかる場合があります。この場合、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合がありますが、成功報酬額は運用実績等により変動するため、上限額等を事前に表示することができません。

4. その他費用 (1) 上記以外に投資信託の保有期間等に応じてご負担いただく費用(*)があります。これらの費用は、運用状況等により変動するため、料率、上限額等を事前に表示することができません。

(*) 監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用、投資信託証券の解約に伴う信託財産留保額、および投資信託が実質的に投資対象とする仕組み債券の価格に反映される費用等

上記の費用の合計額については、お客様が投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に表示することができません。

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友トラスト・アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率(作成日現在)を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧ください。

◆設定・運用は



商 号 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。